

開催日:平成 17 年 6 月 20 日

会議名:平成 17 年 文教市民委員会

- 不登校支援協力員
- 校内適応指導教室

橋本紀子議員

おはようございます。まず、教育委員会の方から計上されています教育研修指導費、不登校早期対応のため支援協力員を配置するという事について、ご質問をさせていただきます。この事業が報道されてから、不登校体験を持つ親御さんや、あるいはフリースクールの関係者、いわゆる当事者と言われている方々から、今回のこの府の事業については、幾分の不安感が寄せられています。具体的に言いますと、1つは、目的を学校復帰のみとせず、広く子どもたちの成長を支援してほしい。2つ目は、子どもたちを受け入れて、信頼関係をつくることから支援をスタートさせてほしい。つまり、今まで関係のない、他人でもなく、学校関係者でもない地域の方が協力員になられるということに対する、こういう思いがあるわけです。それから、3つ目は、支援協力員の家族への派遣については、子ども、あるいは家庭に選択や決定権があるようにして、そのことを文書などを含め、明確な形で伝えてほしい。それから、4つ目は、教員、あるいは支援協力員の研修として、当事者の声を聞く機会を持ってほしい。5つ目は、民間のフリースクールや親の会などの情報を、教育現場に提供してほしい。このような要望が寄せられています。この府の事業の目的の中に、いまだ減少しない不登校の子どもたちに対して、数値目標、半減という言葉が使われたということが、今回、大きな問題になっていまして、大阪府の不登校半減政策を問う緊急アピールがなされましたし、また、そういう関係者によつての要請行動も行われているように聞いています。この不登校の減少の数値目標がひとり歩きすることへの不安を、当事者や、その保護者が聞かないで済むように、そのような地域の方の不安を解消させるということが、高槻市の施策にとつても、大変重要だと思いますが、この点について、市教委の考えをお聞かせいただきたいと思ひます。

樽井指導課長

不登校対策につきましては、不登校児童生徒の社会的な自立を支援し、子どもたち一人一人の自己実現を図ることが重要であり、その結果としまして、学校復帰や教室復帰が図られると認識いたしております。本市におきましては、不登校半減計画を作成する当初より、数値目標を先行させるのではなく、不登校児童生徒の社会的な自立を図ること

を、取り組みの目標にいたしております。この目標を達成するために、校内の組織的な支援体制を確立し、不登校児童生徒一人一人の状況を正しく理解した上で、継続的に支援を行っていくことに重点を置いた計画を作成いたしております。また、不登校児童生徒の現在の状況を正しく見きわめるためには、まずは信頼関係のある担任が、児童生徒や保護者から話を聞くことが重要であり、支援につきましても、本人、それから保護者の希望が優先されると認識いたしております。このことにつきましては、研修会等におきまして、教育委員会から配置校、及び支援協力員に今後も指導してまいりたいと考えております。それから、数値目標が先行することへの不安でございますが、多くの保護者の方が抱いておられると思っております。つきましては、5月27日に、本市の不登校の子どもたちへの支援活動に携わっておられる方々とも、高槻市の不登校対策について、既に話し合いを行いました。一定のご理解をいただいたところでございます。今後につきましても、こういった機会を持たせていただき、不登校児童生徒の社会的な自立に向けての取り組みに生かしてまいりたいと考えております。よろしく申し上げます。

橋本紀子議員

そしたら、2問目ですけれども、この事業が始まって1か月です。既に高槻では、調査研究ということで、中学校区を中心に研究がなされて、中間報告があったわけです。したがって、この問題が、協力員を配置したからといって、即、どのような効果が出るかということ、すぐに期待するものではありませんが、そういう前置きをした上で、現在、4月から配置されて、どのような効果があらわれつつあるかということについて、お聞かせいただきたいと思っております。

樽井指導課長

まだ1か月でございますが、各校ともに不登校生徒、それから準不登校生徒—不登校になりかけている生徒に対して、校内の適応指導教室を中心とした支援の取り組みが、既に始まっております。不登校支援協力員が配置されたことにより、日常的に校内適応指導教室を開設することができ、昨年までほとんど登校できていなかった生徒が、校内適応指導教室へ登校し始めたケースが、まだ幾つかでございますが、報告をされております。以上でございます。

橋本紀子議員

それでは、最後に重ねての要望をさせていただきたいと思うんですけれども、寝屋川市の小学校で殺傷事件が起きたときに、逮捕された少年が、不登校の経験者だったということから、世間では不登校への偏見を含んだ、扇動的なムードが強まっているのではないかと。そうした中、不登校の子どもたち、あるいは家族への圧力が強まらないかということ、

関係者あるいは関係団体の方々が大変危惧をしておられるわけです。不登校の問題は、言うまでもなく子どもたちにとって、当然、学校は行かなければならない場所であるということにはわかっていて、家庭を除けば、唯一とっていいくらいの大きな居場所となっています。そこに行けないということが、どれほどつらいことか、たくさん子どもたちとかかわってきたこの支援団体の方も、よくわかる。一番つらい時期の記憶をなくしてしまって、そのつらさから逃れようとしている子もいるし、死を考えたという子もいる。どれほどたくさん苦しみが、子どもたちにやってくるかということ、よく言われておられます。不登校の子どもたちの置かれている状況、気持ちを理解しようということから支援は始まるんですけども、この不登校に向き合って苦しんでいる多くの親とも、きっちりとかかわっていただきたいという、そういった願いも持っておられます。子どもたちの不登校になったことでのプレッシャーとか、あるいは勇気づけられたことというアンケートもとられて、そこにもあるんですが、余り時間をとってもいけませんけれども、とにかく強制的に、無理やり引っ張っていかれる、あるいは何で来れないんやと言われてたり、そういったことがプレッシャーになっていますし、それから、何気ない学校の言葉で、何でこの子だけが来れないのか。あるいは、学校にも来れない子は、社会で生きていけませんという断定があったりとかいうことで、大変つらい思いをした。一方では、先生たちに家庭訪問を丹念にさせていただいたり、時間をとって親の気持ちを聞いていただいたりということは、大変大きな勇気づけになってくることもあります。最後ですけども、こういった状況で、なかなか私たちは不登校の実態というか、その当事者の方々の気持ちということに理解が及ばない場面がたくさんあると思いますけれども、ぜひこういった、担任とその家庭ということよりも、もっと第三者機関も通じながら、教育委員会が言われておられますNPOや地域との関係、連携を深めるということ、具体的にこれからも、ぜひ進めていただきまして、教職員、あるいは地域、保護者、いろんな方々に、当事者の置かれている状況や思いということをご理解いただくための研修や、そういった働きかけを行っていただきたいということを重ねましてお願いしまして、この問題は終わります。もう1点ですけども、自学自習力育成支援について、お尋ねをします。学習アドバイザーの配置校ですけども、2校ということですが、これはどのように決定したのか、お聞かせいただきたいと思います。

樽井指導課長

既に、放課後の学習等、経験のおありの学校を中心に、教育委員会指導課の方で考慮いたしまして、2校絞らせて、推薦させていただいたところでございます。

福井委員長

どのように考慮したかも言わんと。そこが問題点やからね。

樽井指導課長

対象校の指定についてでございますけれども、本事業の趣旨を、まず学校長の方に説明をさせていただきました。そして、実施希望を募るとともに、児童生徒の生活や学習の実態、それから既に放課後学習の取り組みに着手している学校などを考慮しまして、桜台小学校、富田小学校の2校に委嘱を決定したところでございます。以上でございます。

橋本紀子議員

本事業の対象児童ですけれども、2名の方がそれぞれに配置されて、3年生と4年生を対象とすると。たくさんの児童が一遍に、例えば2名だったら、3年生用の方と4年生用の方の支援をなさるとすれば、多くの児童が集まってくることも予想されるし、また、来ないことも予想されます。そういった対象児童というのを、どのように選定し、それからまた、時間帯をどのように考えておられるか、お願いしたいと思います。

樽井指導課長

放課後の学習相談室に参加する児童の決め方についてのご質問でございますけれども、まず、児童保護者全体に、本事業の趣旨等の説明を行います。そして、参加希望を募ることが基本となります。その上で、放課後、家庭での学習がなかなか定着していない子どもが、この授業には来ていただきたい子どもですので、非常に丁寧に、家庭とも連携をとりながら、保護者への説明をして、参加を募っていく所存でございます。よろしく申し上げます。

橋本紀子議員

この事業の予算措置を、ちょっと詳しく教えていただきたいと思います。

樽井指導課長

これは、2名の学習アドバイザーを、年間25週、今年度につきましては23週になりますけれども、2校に配置をいたします。1回につき5,000円ということで、大体4時間程度の学校への勤務ということになります。報償費でございますけれども、謝金で対応する予定でございます。以上でございます。